



編集・発行 湘南希望の郷
〒252-0825 藤沢市瀬郷1003
TEL. 0466-48-4500

Index

- 新年のご挨拶 P1
- 1年の抱負 P2
- せせらぎ会だより・希望のバトン P3
- クリスマス会・ふくし村まつり・リハ室の小窓 P4

明けましておめでとうございます

理事長 五十嵐 紀子



卯年の年明けにあたり、誠におめでとうございます。

皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのことと思います。

今空色の中に白いマントを着ているような輝く富士山を見ていると、本当に日本に生まれ、この湘南の地に住んでいて良かったとつくづく感じます。

昨年は秋の青空の下、光友会として、初めてお借りした田んぼでお米の収穫祭を行いました。沢山の利用者さんと職員が一体となって実施した稲刈りは本当に感動的でした。

加えてその収穫したお米でご飯を炊いて食べた時の美味しかったこと。

改めて、この地での事業展開をさせて戴いている事に感謝です。

利用者の方々もコロナに負けずに元気にお過ごしいただいていることに元気を戴きながら、又今年も頑張れると思っています。

昨年植え付けをしました「メイブ」というブドウも順調に成長しています。近いうちにワインの試飲会等も出来ることと思います。これもまた皆さん楽しみにお待ちください。

いずれにせよ、政府の障害福祉施策の変化に注視して、自分達でできることを考え事業の方向性を決定していかなければならない状況下に於いて、皆でアイデアを出しながら頑張りたいと思っています。

今年こそ、一人一人が良い年と思えるようにしたいものですね。

何卒よろしくお願い申し上げます。



今年も
粘り強く！

ホップ
ステップ
ジャンプ



2023 年決意を新たに

郷を安心、かつ居心地の良い住まいとして、守る。そこには、いろいろな担当者の力の結集が不可欠であることはもちろんのこと。その水面下に求められる努力項目を真摯に受け止め、学ぶ、その姿勢を新しい年明けにあたって、各担当長に決意等意気込みを語っていただきました。



アクティビティ担当 下條 隆史

社会情勢を鑑み、アクティビティプログラム活動も大人数参加から少人数参加へ、毎週参加から隔週参加へと変化を余儀なくされ、住人さんからは「寂しい」とのご意見を頂きました。今年はプログラム参加拡充に向けて、入れ替え制を導入し、各種楽器を奏でる機会を設けたり、季節に合った BGM を流しつつ、工夫を凝らした装飾作り等、住人の皆さんにとって居心地良く、楽しんでプログラム参加をして頂ける様、ACT 職員一丸となって取り組んでまいります。



栄養担当 榎 千春

感染症対策で「献立委員会」が開催出来ていませんが、皆様からは「このリクエストお願い!」とリクエストのお手紙を下さる方や「実は〇〇食べたいんだ」と恥ずかしそうにコソソリ教えて下さる方、職員さんを通じてリクエストして下さる方と、皆さんからは様々な方法でお食事に対する意見をいただいています。今年も皆様の意見を取り入れつつ、目で楽しめて、味でも楽しめて、美味しい～と感じてもらえるようなお食事を提供したいと思っています。



看護担当 吉原 恭子

小さなことでも気軽に相談できる「敷居の低い医務室」でありたいと思っています。電話番号は局番なしの内線「123」までどうぞ。こなれた心優しいナース達が、お待ちしております。



理療担当 野池 由美子

今までは、リハビリ室は機能訓練の時間に来室される場所でした。ところが、昨年末よりお散歩のついでや喧騒を離れてのんびり過ごす場所として、立ち寄っていかれる方が増えました。皆さんが入室しやすい雰囲気があるようで、ホッとしています。頑張る時には頑張ってください、時にはリラックスしていただけるようなメリハリのあるリハビリ室を目指します。



生活担当 岩永 大

生活の中で大切にしていることや挑戦したいこと、時にはやりたくないことも含めて、「ご本人様の意思を大切に」を合言葉に、私たちはサポートしていきます。また、皆様が「ブラボー」と言える生活ができるように、ご本人様と伴走して、しっかり支援していきます。本年も変わらぬご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

せせらぎ会だより

去年今年貫く棒の如くもの (高浜虚子)

明けましておめでとうございます。

昨年は、混迷するコロナ禍に乗じて、ロシアがウクライナに軍事侵攻をはじめた。姑息にも核兵器の使用をちらつかせて欧米諸国を牽制する侵略者プーチン。

その意図するところのシナリオが、にわかに世界を二分する第三次世界大戦を彷彿とさせる論調に変質して世界を席卷しました。

独裁者の詭弁で、お国のために手段化される民衆ほど不幸なことはありません。「人間は過去を忘れた時、同じ過ちを繰り返す」。

一方で、「過去の歴史に学び教訓として、今をどう生きるかによって過去の意味はつくっていきける」。「人

間がつくりだした難問は、同じ人間によって解決できない訳がない」とは、先人の言葉である。

いま、21世紀が直面する、さまざまな地球的危機を解決するのも、他ならぬ問題の元凶を作り出した張本人と同じ人間の英知なのである。ちなみに12月12日現在。国内の新型コロナウイルス感染者累計は2613万2159人・死者5万1829人を記録している。(NHK ニュース)

ここ3年あまり、「国難」とも言われたコロナ禍も終息に向けた確かな道筋が見えてきました。

新年は、自治会に於いても、基本的な感染対策を講じながら、法人理念に即して住人各位の意志を第一義に考え、より良い住空間の構築と親睦をはかるQOL(生活の質)の向上に努めたいと思います。

2023年が、皆様にとりまして健康で充実した一年に成ることを衷心よりお祈り申し上げます。

令和五年 元旦 石原生美夫



希

望

の

バ

ト

ン



☆キラキラ☆

湘南希望の郷ケアセンター 辻本亜希

田中亜紀子さんからバトンを受け取りました。湘南希望の郷ケアセンターの辻本亜希です。毎回「希望通信」を熟読して楽しんでおります。それは、利用者さんやご家族の皆様、職員さんの事が気になっているからです。利用者さんにはコロナ禍の制限ある生活の中で、気持ちも身体も元気で生活されていますか？ご家族の方にはお変わりありませんか？私は皆さんとお話したいことがたくさんあるのですが、今の状況ではそれがなかなか叶いません。ですので、私の情報源が「希望通信」なのです。

私は希望の郷を巣立った人間です。一緒に働いていた仲間の方々が、それぞれの立場や部署で活躍されている姿を見られるのがこの「希望のバトン」です。記事の内容は皆それぞれですが、元気なご様子を垣間見るとその姿がとても懐かしく思い浮かび、なぜか私の中ではキラキラして感じます。そして、そのキラキラ感は皆さんが辛い時でも踏ん張り、その場所で一生懸命頑張っている証だだろうと考えます。これからの自分も、利用者さんや他の職員さんのそのキラキラに負けないように、日々頑張りたいと思います。

今年の冬はインフルエンザにコロナウイルスの感染拡大とまだまだ気の抜けない毎日ではありますが、皆さん気持ちもお身体もお大事になさってください。そして、おめにかかれた時にはゆっくり立ち話でもできる日を楽しみにしております。次は希望で活躍中の山本啓子さんにバトンをお渡しします。

我が家のペット自慢「つぎぎの「ロロ」」

実は私：今年の干支でもあるうさぎを飼っています。娘が「どうしても飼いたい」とのことと、生き物を飼うのも良い経験になるかなと思い、2021年11月より家族の一員として一緒に生活しております。今では家族一人を認識しているようで、どうやら私は「餌をくれる人」となっており、近くに行くと足の周りをグルグル回り「ちようだい」アピールです。今では娘以上にメロメロです。

施設長 一見弘樹



クリスマス会

今年は部屋に飾るリースを自分たちで作って、サンタさんを迎える準備は万端にしました。

3年連続みんなで集まる機会が持てずとても残念でしたが、12月21日サンタやトナカイに扮した職員さんたちが今年も大きな袋にプレゼントをいっぱい詰めて、華やかに飾られた皆さんのお部屋に訪れました。

さて、プレゼントはコップやカバン・タオルなど様々で、しかもとてもかわいいものばかりです。

今年のサンタさんはどこかのテーマパークにでも寄り道してきたのかな…



ポスター大賞とりました！

11月19日(土)、湘南ふくし村にて、村まつりが行われ、希望の郷は住人さんが食堂に集まり、ステージ発表や大抽選会をオンラインにて参加いたしました。当日とホームページ上で投票を行ったポスター大賞では、橋本さんが大賞を受賞されました。



外壁修繕工事終了

10月より行っていた外壁の修繕工事ですが、12月末に終了しました。

築30年を越える建物ですので計画的に修繕工事を行っておりますが、今回は職員室、厨房、浴室がある2階建棟部分の修繕を行いました。併せて玄関や外周のスロープ、避難用すべり台の修繕も行い大変綺麗になり気持ちよく新年が迎えられそうです。



◆ 1・2月の予定 ◆

健康課より

1月の予定

藤沢病院 石井 Dr.	26日(木)
厚誠会歯科検診	10日(火) 17日(火) 24日(火) 31日(火)
御所見病院 多田隈 Dr.	11日(水) 25日(水)

2月の予定

藤沢病院 石井 Dr.	16日(木)
厚誠会歯科検診	7日(火) 14日(火) 21日(火) 28日(火)
御所見病院 多田隈 Dr.	8日(水) 22日(水)



訓練室には様々な形や長さ、ジャリジャリ・フワフワなどいろいろな手触りをしているクッションがあるのは皆さんご存じでしょうか。水色のカバーに包まれたクッションが『ポジショニングクッション』と呼ばれるものです。

ポジショニングとは利用者さんの安楽な状態を保持することであり、そのためにクッションなどを使用し身体がずれないようにします。適切なポジショニングは褥瘡、拘縮や変形の予防になります。ひとたびこのクッションに身を任せると、あっという間に皆さん身体の力が緩みリラックスモードに…。気が付くと夢の中という方も少なくありません。

身体が安楽で安定することの大切さを感じさせていただく瞬間です。



日の出が遅くなり、霜雪が田畑を覆い、寒さが身に染みる、そんな季節がやってきましたね。

年を重ねていく度、一年という時間の速度が早くなる。

とよく言いますが、私も例外ではなく着実にそして確実に、早くなっていくのを感じています。このスピードに逆らって、ゆっくりゆっくり生きていきたいものです。A.S